ムハンマド (イスラーム)

- 問5 様々な思想における死生観についての説明として最も適当なものを、次の① ~④のうちから一つ選べ。 15
 - ① 古代インドでは、ブッダをはじめとして、バラモン教の伝統に囚われない 自由思想家たちはいずれも、輪廻からの解脱という考えを否定した。
 - ② パウロは、イエスの死が神に背いたアダムへの罰としてもたらされたものだと考え、アダムを祖とする人間も皆、死を免れないと説いた。
 - ③ イスラーム教では、信徒は生活全般を規定するシャリーア(イスラーム法) に従って現世を生き、最後の審判にそなえなければならないとされる。
 - ④ 墨家は、生者の生活に関しては倹約を旨としたが、中国の祖先祭祀の伝統 に基づき、死者に関してはできる限り手厚く葬るべきだと主張した。
- **問7** イスラーム教の説明として最も適当なものを、次の①~**④**のうちから一つ選べ。 ☐ 17 ☐
 - ① クルアーン(コーラン)は、ムハンマドと彼を取り巻く人々に下された神の 啓示を、集録し、編纂したものとされる。
 - ② イエスを救世主とみなすキリスト教の教えを継承し、ムハンマドを救世主 として信じることは、六信の一つに数えられる。
 - ③ 五行などの実践によって神への信仰を体現することだけでなく、天使の存在を信じることも信徒の義務であるとされる。
 - ④ イスラーム教は、中東、東南アジアなどを中心に世界各地で信仰されており、少数派のスンナ派と多数派のシーア派に大別される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	15	3	3
第 2 問	問 7	17	3	2

- 問1 人々に生き方の指針を示す役割を果たしてきたものには、数々の書物もある。 そうした書物についての説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから 一つ選べ。 11
 - ① 仏教では、自らの社会的身分に即して活動したブッダの言行が、『スッタニパータ』にまとめられており、人々が生まれつきの身分にふさわしい活動をするための模範とされている。
 - ② イスラーム教では、六信の対象の一つである諸啓典(聖典)のうちで最も重要な啓典であるクルアーン(コーラン)が、ムスリムの生活を様々な面で規定している。
 - ③ ホメロスの『イリアス』や『オデュッセイア』は、神話的世界観を批判し、神々の登場しない人間の英雄たちの物語を描き出しており、人々の行動や考え方の指針とされた。
 - ④ ユダヤ教やキリスト教の聖書では、預言者イザヤが当時の王国のあり方を 賞賛し、民衆に神の言葉を伝えた姿が描かれており、彼の言行はあるべき信仰の模範とされている。
- 問2 イスラーム教についての記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 12 □
 - ① クルアーンは、ユダヤ教の聖典に倣ってヘブライ語で著わされた。
 - ② すべてのモスクでは、聖地エルサレムに向かって礼拝が行われる。
 - ③ イスラーム教は、五行の一つとして喜捨(ザカート)の義務を定めている。
 - ④ キリスト教徒らと区別して、イスラーム教徒は「啓典の民」と自称する。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	2	3
第 2 問	問 2	12	3	2

- 問 6 イスラーム教の説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 16
 - ① アラビア半島ではもともと一神教の伝統が続いていたため、人々はムハンマドの教えを抵抗なく受け入れた。
 - ② イスラーム共同体であるウンマにおいて、ムハンマドは宗教上の指導者であったが、政治上の指導者ではなかった。
 - ③ ジハードはしばしば「聖戦」と訳されるが、もともと「(神の道において) 奮闘努力すること」を意味する。
 - ④ ムハンマドの死後、カリフ位の継承をめぐる争いは起きなかったので、現 代に至るまで分派は生まれていない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	3	2

- 問3 次の**ア~ウ**は、イスラーム教についての記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 13
 - **ア** イスラーム教世界の最高指導者であるカリフは、神から啓示を授かる預言 者であると同時に、ムハンマドの後継者とみなされた。
 - **イ** 預言者ムハンマドによって率いられたウンマは、宗教的ウンマと政治的ウンマに分かれていた。
 - **ウ** 預言者ムハンマドも人間であるとされ、イエスもまたムハンマドに先行する預言者であって、神の子ではないとされた。
 - ① ア 正 イ 正 ウ 正
 - ② ア 正 イ 正 ウ 誤
 - ③ ア 正 イ 誤 ウ 正
 - ④ ア 正 イ 誤 ウ 誤
 - ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 正
 - ⑥ ア 誤 イ 正 ウ 誤
 - ⑦ ア 誤 イ 誤 ウ 正
 - ⑧ ア 誤 イ 誤 ウ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	13	7	3

- 問 6 次の**ア**~**ウ**は、イスラーム教の内容についての記述である。その正誤の組合 せとして正しいものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 16
 - ア ムハンマドは、神から啓示を与えられた唯一の預言者であり、彼の受けた 啓示の言葉がクルアーン(コーラン)である。
 - イ イスラーム教徒が実践すべき宗教上の義務として、カーバ神殿と預言者ム ハンマドの聖墓への巡礼があり、五行の一つに数えられている。
 - ウ ムスリムが「服従する者」を意味するように、イスラーム教では、神の教 えを守り、シャリーアに従うことが求められる。
 - ① ア 正 イ 正 ウ 正
 - ② ア 正 イ 正 ウ 誤
 - ③ ア 正 イ 誤 ウ 正
 - ④ ア 正 イ 誤 ウ 誤
 - ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 正
 - ⑥ ア 誤 イ 正 ウ 誤
 - ⑦ ア 誤 イ 誤 ウ 正
 - ⑧ ア 誤 イ 誤 ウ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	7	3

- 問2 次の \mathbf{r} ~**ウ**は、シャリーアについての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①~ $\mathbf{8}$ のうちから一つ選べ。 $\boxed{12}$
 - ア シャリーアは、クルアーン(コーラン)などに基づき、豚肉を食べることや 酒を飲むことを禁じるなど、食生活に様々な制限を設けている。
 - イ シャリーアは、結婚や相続など、ムスリムの生活全般の規則を定めており、 シャリーアを守って生きることが神への信仰の体現であるとされる。
 - ウ シャリーアは、神と人との関係と人間同士の関係の両方を規定しており、神に対して果たす義務である五行には、礼拝、瞑想などが含まれる。
 - ① ア 正 イ 正 ウ 正
 - ② ア 正 イ 正 ウ 誤
 - ③ ア 正 イ 誤 ウ 正
 - ④ ア 正 イ 誤 ウ 誤
 - ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 正
 - ⑥ ア 誤 イ 正 ウ 誤
 - ⑦ ア 誤 イ 誤 ウ 正
 - ⑧ ア 誤 イ 誤 ウ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	12	2	3

- **問3** イスラーム教の説明として**適当でないもの**を、次の①~**④**のうちから一つ選べ。 13
 - ① 来世は六信の一つとされ、終末の日に死者はよみがえり、神による最後の 審判を経て、天国または地獄にいくとされる。
 - ② 「アッラーのほかに神はない,ムハンマドは神の使徒(使者)である」と唱える信仰告白は,五行の一つとされる。
 - ③ クルアーン(コーラン)は、歴代の預言者たちに下された神の啓示を、ムハンマドが集録し、編纂したものとされる。
 - ④ ムハンマドはエルサレムで昇天したと伝えられており、エルサレムは、メッカ、メディナに次ぐイスラーム教の聖地とされる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	13	3	2

- 問3 イスラーム教の説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 □ 13 □
 - ① 最後の審判の日、ムハンマドが神の代理人として一人ひとりの人間を裁き、 天国と地獄に振り分けるとされる。
 - ② 一日に五回, 定められた時に, 神の像に向かって礼拝を行うことは, ムスリムの務めの一つとされる。
 - ③ ムハンマドは、モーセやイエスに続く預言者であり、神は、ムハンマド以降も預言者を遣わすとされる。
 - ④ 唯一神への絶対的帰依が説かれ、開祖ムハンマドであっても、神格化の対象とはならないとされる。
- **問5** 次の**ア**~**ウ**は、様々な聖典の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①~**8**のうちから一つ選べ。 **15**
 - ア 新約聖書は、従来の律法に代わって、人類に無償の愛を注ぐ神への応答として「神を愛し、隣人を愛せ」という新たな愛の「掟を教え、その掟を全うすることによって罪を贖う者は救われるという、福音を説いている。
 - イ ユダヤ教の聖典は、世界の創造者である神の啓示の書とされる。神が与え た律法を守ることで救いと繁栄が約束されるという契約の思想が表され、神 と契約を結んだ民であるイスラエル人の歴史などが書かれている。
 - **ウ** クルアーン(コーラン)は、預言者ムハンマドに下された神の啓示を記した 書とされ、聖職者と一般信徒がそれぞれに実践すべき規律を教えており、シャリーア(イスラーム法)の典拠となっている。
 - ①ァ正ィ正ウ正
 - ② ア 正 イ 正 ウ 誤
 - ③ ア 正 イ 誤 ウ 正

④ ア 正 イ 誤 ウ 誤

⑤ ア 誤 イ 正 ウ 正

⑥ ア 誤 イ 正 ウ 誤

⑦ ア 誤 イ 誤 ウ 正

⑧ ア 誤 イ 誤 ウ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	13	4	2
第 2 問	問 5	15	6	3

問3 次の文章は,施しや援助について触れたクルアーン(コーラン)の一部である。 この文章を読み,イスラーム教の教えに関する説明として最も適当なものを, 下の①~④のうちから一つ選べ。 13

> この部分につきましては 著作権処理中の為 現在公開できません

> > (クルアーンより)

- ① イスラーム教における敬虔とは、神や天使を信じることであり、神の命令に従い行動することではない。それでも、ラマダーン月(イスラーム暦9月)の断食は五行の一つとされ、貧者を思いやり空腹に耐えなければならない。
- ② イスラーム教における敬虔とは、神や天使を信じるのみならず、神の命令 に従い行動することである。そのため、ラマダーン月の断食は五行の一つと され、たとえ病人でも、他の時期に断食を延期することは禁止されている。
- ③ イスラーム教における敬虔とは、神や天使を信じることであり、信仰を具体的行為に表すことではない。それでも、相互扶助の実践として、ラマダーン月に断食を行わずに貧者に食事を与えることは、五行の一つとされる。
- ④ イスラーム教における敬虔とは、神や天使を信じるのみならず、信仰を具体的行為に表すことである。そのため、ラマダーン月の断食は五行の一つとされ、断食しなかった場合、貧者に食事を与えることで埋め合わせできる。
- 問4 人々がともに生きることについて先哲たちが説いた教えの記述として**適当でないもの**を、次の①~④のうちから一つ選べ。 14

- ① プラトンは、国家を構成する統治者階級、軍人階級、生産者階級がそれぞれ知恵の徳、勇気の徳、節制の徳を発揮するとき、正義が成立し、調和のとれた理想国家が実現すると主張した。
- ② 仏教では、在家信者がひとしく守るべき五つの戒めが定められた。そのなかには、人のものを盗んではならないという「不偸盗戒」や、人に嘘をついてはならないという「不妄語戒」などが含まれる。
- ③ ムハンマドは、血縁関係に基づく従来のアラブの部族社会に対して、信仰によって結ばれたイスラーム共同体の構築を唱えた。ウンマと呼ばれるこの 共同体は、部族や民族の枠を超えて開かれている。
- ④ ユダヤ教の律法学者たちは、共同体の内部において、律法を守りたくても 守れないでいる病人や貧しい人、徴税人たちを差別せず、彼らに対しては、 律法を遵守しなくても救われると説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	13	4	3
第 2 問	問 4	14	4	3

- **問3** イスラーム教の教えに関する記述として**適当でないもの**を、次の①~**④**のうちから一つ選べ。 13
 - ① アッラーはムハンマドの死後も,新たな啓示をカリフに伝え,それを記録 したものがクルアーン(コーラン)とされる。
 - ② アッラーの定めた戒律は、神と人間との関係、および人間同士の関係の両 方を規定しており、結婚や遺産相続にまで及んでいる。
 - ③ イエスは神の子であると信じるキリスト教を批判して、三位一体説を認めず、唯一神への信仰を説いている。
 - ④ メッカのカーバ神殿への巡礼は、ムスリムに課せられた務めの一つであり、 巡礼月には世界各地から巡礼者が集まってくる。
- 問5 下線部 e に関連して、他者との関係性について説かれた様々な教えや思想の説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 15
 - ① 荀子は、人は欲望に従って行動する傾向があり、そのままでは他者と争う ことになるため、法律によって欲望を制御すべきと説いた。
 - ② イスラーム教では、「すべてのムスリムはみな兄弟である」とされ、民族に 関係なくイスラーム教の教えに従う者は平等であると説かれた。
 - ③ 仏教では、人間は愛するものといつか必ず別れねばならないという苦しみ を有しており、それが四苦の一つであると説かれた。
 - ④ エンペドクレスは、知識を他者に教え込むことではなく、問答法によって、 他者が自ら真の知へ向かうのを助けることが重要であると説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	13	1	3
第 2 問	問 5	15	2	2

- 問2 イスラーム教の唯一神アッラーについての説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 12
 - ① 一切を超越した神であり、いかなる偶像によっても表すことはできない。この神は、モーセやイエスの説いた神と同じであるとされる。
 - ② 神は全知全能で、人間に審判をくだす。そして、最後の審判において、死 んだ人間をすべて復活させ、天国に入れるとされている。
 - ③ 一切を超越した神であり、彫像によって表すことはできない。ただし、神 の肖像画のみは認められており、これがイコンと呼ばれる。
 - ④ 神は全知全能で、人間に審判をくだす。そして、この審判を一千年ごとに 行い、正義を確立するとされる。
- 問 4 知ることと社会的実践との関係についての記述として**適当でないもの**を、次の①~②のうちから一つ選べ。 14
 - ① ムスリムは、ジハードを義務づけられている。ジハードとは、聖典を通して知られる神の意志に基づいて、神の定めた正義を世界に広めるよう奮闘することである。
 - ② 王陽明は、朱子学を知性偏重であると批判して、知ることは行いの始めであり、行いにより知ることが完成する、と説いた。この考え方は居敬窮理と呼ばれ、社会を導く知識人が実践すべきものとされる。
 - ③ ガンディーは、自らの政治運動において「真理把持」を意味するサティヤーグラハの理念を掲げた。そこで重視されたのが、仏教やジャイナ教でも共通して説かれたアヒンサー(不殺生)の実践である。
 - ④ プラトンは、『国家』において、知恵の徳をそなえた哲学者が、防衛者階級・ 生産者階級を治めることを理想の統治のあり方とした。この体制は哲人政治 と呼ばれる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	12	1	3
第 2 問	問 4	14	2	3

問6 次の**ア~ウ**はイスラーム教の基本的な義務である五行に関する記述である。 その正誤の組合せとして正しいものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。

17

- **ア** 健康な成人男女は、イスラーム暦 9 月のラマダーン月の日中、一切の飲食 を絶たなくてはならない。
- **イ** 経済的、肉体的に可能であれば、イエスが十字架上の死を遂げたエルサレムに巡礼しなくてはならない。
- **ウ** 毎日 5 回メッカの方角を向いて ^{ひざまげ} き,カーバ神殿にあるアッラーの肖像 画を 統えなくてはならない。
- ①ァ正ィ正ウ正
- ②ア正イ正ウ誤
- ③ ア 正 イ 誤 ウ 正
- ④ ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 正
- ⑥ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑦ ア 誤 イ 誤 ウ 正
- 8 ア 誤 イ 誤 ウ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	16	3	3

- 問7 下線部 g に関して、次の文章 A は信徒の食べ物について、B は施しについて 述べたイスラーム教の聖典クルアーン(コーラン)の一部である。これらの文章 を読み、クルアーンとその教えに関する記述として最も適当なものを、下の① ~④のうちから一つ選べ。 18
 - A 信ずる人々よ、われら(アッラー)*が与えてやったもろもろのよきものを食べよ。そして、おまえたちが本当にアッラーを禁めているならば、アッラーに感謝せよ。アッラーはただおまえたちに、死骸と血と豚肉、およびアッラー以外の者の名によって供されたものを禁じたもう。といっても、食い意地のためでもなく、禁に背く心からでもなく、やむを得ず食べた者には罪はない。アッラーは寛容にして慈悲深いお方である。
 - B 信ずる人々よ、おまえたちが稼いだよきものと、われら(アッラー)がおまえたちに大地の中から出してやったもののうちから惜しまず施せ。自分なら目をつぶらずには受けとろうともしないのに、悪いものばかり施すように図ってはならない。アッラーは富者であり、ほめ讃えるべきお方であることを知れ。
 - *クルアーンでは、アッラーの自称として、一人称複数が用いられることが多い。
 - ① クルアーンは、唯一の神が人間に与えた言葉とされ、特定の食べ物を禁じており、それを食べればどんな場合でも罪になると説いている。
 - ② クルアーンは、唯一の神が人間に与えた言葉とされ、特定の食べ物を禁じているが、場合によってはそれを食べても罪にはならないと説いている。
 - ③ クルアーンは、唯一の神がムハンマドと彼を取り巻く人々に直接現れて語ったものとされ、食べ物なら何でも惜しまず他人に施せと命じている。
 - ④ クルアーンは、唯一の神がムハンマドと彼を取り巻く人々に直接現れて語ったものとされ、悪いものばかり他人に施すことを禁じている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	18	2	3

問 6 クルアーン(コーラン)には、神がモーセに下したとされる十戒同様、十の戒律が列挙されている箇所がある。次に示す両者の要約を読み、イスラーム教とユダヤ教を比較した記述として最も適当なものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 9

【クルアーンの十の戒律】

神に並ぶものを配してはならない。
両親によくしなさい。

画税によくしなさい。 貧乏を恐れて子を殺してはならない。 醜悪なことに近づいてはならない。 理由なく命を奪ってはならない。 孤児の財産に近づいてはならない。 十分に計量し正しく量れ。 発言する際には、公正であれ。 神との約束を果たせ。 神が示した正しい道に従え。

【モーセの十戒】

私以外のどんなものも神とするな。 像を造って、ひれ伏してはならない。 神の名をみだりに唱えてはならない。 安息日を心に留め、これを聖とせよ。 父母を敬え。

殺してはならない。 **萎**淫してはならない。 盗んではならない。 隣人に関して偽証してはならない。

隣人の家をむさぼってはならない。

- ① 両宗教ともに神を唯一なるものと考え、唯一神以外の神を崇拝することを 禁止しているが、ユダヤ教では偶像崇拝を許容している。
- ② イスラーム教の神は超越者ではないので、超越神を信奉するユダヤ教のように、神の名をむやみに唱えることを禁止する戒律はない。
- ③ 人間の健康と福祉は両宗教において何よりも重視されているので、ともに 過労を防ぐために一切の労働を停止し休息をとる日を定めている。
- ④ 両宗教が定める倫理規範においては、力点の置き方が多少違うものの、と もに親孝行と並んで社会的な振舞い方が規定されている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	9	4	3

- 問 6 喜捨を含むイスラーム教の戒律についての説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 9
 - ① 六信が何よりも重要であり、信仰を伴わない行為は無意味なので、戒律の履行は義務ではなく信仰心に基づく任意の行為とみなされる。
 - ② 正しく信仰し戒律を守るアラブ人のみが、世の終わりに現れるアッラーに より救済され、栄光と正義に満ちた理想郷の住人となる。
 - ③ 聖と俗が分離されたイスラーム教では、学者たちが教義の解釈を担い、カリフは戒律などの宗教規範に関与せず政治に専念する。
 - ④ アッラーが下す最後の審判で、正しい信仰を守り、戒律を遵守したと判断 された者は楽園に赴き、至福を享受することができる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	9	4	3

- 問4 イスラーム教の宗教的な義務の多くは、クルアーン(コーラン)に基づいて規定され、その実践は現世での善行とみなされる。このような義務の代表例である五行の実践に関する記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。
 - ① 「この神殿への巡礼は、そこに赴くことが可能な人々にとって、神に対する義務である」といったクルアーンの記述に従い、巡礼月以外でも、経済的、 肉体的に巡礼が可能になり次第メッカの神殿に赴き、所定の儀式を行うこと
 - ② 旅人や病人を例外として「その月(ラマダーン月)に家にいる者は心身を 清らかにせよ」といったクルアーンの記述に従い、イスラーム暦9月のラマ ダーン月に健康な成人男女が昼夜を問わず飲食を一切断つこと
 - ③ 「マリアの息子であるイエス・キリストは、神の使徒にすぎない」といったクルアーンの記述に従い、イエスの代わりにムハンマドを神の子とし、「神以外に神はなし、ムハンマドは神の御子である」と唱え信じること
 - ④「お前たちはどこにいても、顔を(メッカにある)聖モスクの方角に向けなさい」といったクルアーンの記述に従い、どこに住んでいても毎日五回メッカの方角を向いて。晩。き、神を賛美する特定の文言を唱えること

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	8	4	3

- 問4 イスラーム世界では、ギリシアの学問や文化が多く取り入れられた。ギリシアの学問や文化とイスラーム世界との関わりについて述べた文章として**適当でないもの**を、次の①~④のうちから一つ選べ。 8
 - ① ギリシアの伝統を継承したムスリムが発展させた学問のなかで、現代では 科学とみなされなくなったものとしては、占星術の他に錬金術がある。
 - ② イスラーム世界では、絵画や彫刻が盛んではなかったが、写実的なギリシア芸術に刺激され、アッラー(神)の彫像が制作されるようになった。
 - ③ アリストテレスらの哲学を受け継いだイスラーム哲学は、ラテン語への翻訳を通じて西欧に伝えられ、スコラ哲学に多大な影響を与えた。
 - ④ イスラーム教ではアッラーが唯一神とみなされるので、ギリシア神話で描写される神々がイスラーム世界に受け継がれることはなかった。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	8	2	3

- 問6 ムハンマドの思想が旧来の多神教と対立した要因の一つに挙げられるものと して最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 10
 - ① ムハンマドが説いた唯一神の教えは、部族制に基づいた多神教を否定し、 アッラーの前でのすべての人間の平等を主張することで、部族の枠を越えた 共同体の形成を促した。
 - ② 旧来の多神教では、モーセやイエスの説いた神であるヤハウェをアッラーと並べようとするが、ムハンマドが説く唯一神の教えはヤハウェを認めようとしなかった。
 - ③ 部族制に基づいた多神教はメッカのカーバ神殿と結び付いた偶像崇拝的要素を有していたので、ムハンマドはメディナへと移住し(聖遷)、以後、カーバ神殿での礼拝そのものに反対した。
 - ④ ムハンマドを救い主として信じることは六信の一つであるにもかかわらず、旧来の多神教を信奉する部族の長たちは、ムハンマドの宗教的権威を認めようとしなかった。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	10	1	3

問1 文章中の 4 に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①~④のうちから一つ選べ。

クルアーン (コーラン) では思いやりはより具体的な形で規定されている。例 えば, 4 の一つである貧者のための喜捨は, それができる者の義務とされ, 弱者救済の役割を果たしている。



- 問3 次の \mathbf{r} ~ \mathbf{h} は、 \mathbf{A} ~ \mathbf{F} の六信について述べたクルアーンの句である。これらの組合せとして最も適当なものを、下の①~ $\mathbf{4}$ のうちから一つ選べ。 $\boxed{\mathbf{7}}$
 - \mathbf{r} 「アッラーのお許しにより、…… $\overset{\text{xx}}{b}$ (ムハンマド)の心にそれ(クルアーン) を下す者」
 - **イ** 「われら(アッラー)*が汝(ムハンマド)を遣わしたのは,吉報の伝達者として,また警告者としてであるにすぎない」
 - **ウ** 「楽園の様子はと言えば、その下を川が流れ、果実が常に実っている……。 だが不信者の結末は火獄である」
 - **エ**「真理をもって天地を創造された御方である」
 - **オ** 「アッラーは……寿命を定められた御方である。寿命は御胸の中で決まっている」
 - **カ** 「実にわれら(アッラー)は、導きと光りがある律法を〔モーセ(ムーサー) に〕下した」
 - *クルアーンでは、アッラーの自称として、 1人称複数が用いられることが多い。
 - A アッラー(神)
 - B 天使たち
 - C 諸啓典(聖典)

- D 使徒(預言者)たち
- E 来世
- F 予定(天命)
- $\textcircled{1} \quad \textbf{7-B} \quad \textbf{4-D} \quad \textbf{\dot{D}-E} \quad \textbf{I-A} \quad \textbf{\dot{T}-F} \quad \textbf{b-C}$
- 3 7-B 4-C 9-D 1-A 1-F 1-E
- 4 $extstyle{7-C}$ $extstyle{1-F}$ $extstyle{5-E}$ $extstyle{1-D}$ $extstyle{1-D}$ $extstyle{1-D}$ $extstyle{1-D}$

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第2問	問 1	4	2	2
第2問	問 3	7	2	3

- 問5 クルアーン (コーラン) を聖典とするイスラームについての記述として**適当** でないものを、次の①~**②**のうちから一つ選べ。 9
 - ① アブラハムと同じようにムハンマドもアッラーから遣わされた。
 - ② アッラーとは全知全能で、子をもたない唯一絶対の存在である。
 - ③ 財産に応じて行う喜捨は、為政者への献金として重要である。
 - ④ メッカへの巡礼は、ムスリムたちがあこがれる務めである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	9	3	3

- 問6 イスラームの共同体であるウンマについての説明として最も適当なものを、 次の①~④のうちから一つ選べ。 10
 - ① クルアーン(コーラン)などをもとに体系化されたイスラーム法という行 為規範に従う、宗教と政治とが一体となった共同体である。
 - ② クルアーンによって伝えられたムハンマドの教えを守るために、地位が上の者に服従する聖職者からなる共同体である。
 - ③ 各人が自由に解釈したクルアーンの文言に従って宗教的実践を行う人々によって成立する、個人主義的な共同体である。
 - ④ アッラーへの信仰はカリフによって指示されたものであり、信仰よりもむ しろ弱者の救済という実践を重んじる政治的社会的共同体である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	10	1	3

- **問4** アッラーの意志に関する記述として**適当でないもの**を、次の①~**④**のうちから一つ選べ。**8**
 - ① アッラーの意志を示すものであるクルアーン(コーラン)は、結婚や遺産相 続などの生活上の規範も説いている。
 - ② アッラーの意志はムハンマドを通じて人間に伝えられたが、ムハンマドに それを仲介したのは天使だとされる。
 - ③ ユダヤ教とキリスト教の聖典はアッラーの意志を示すものではないため、 イスラームの聖典とは認められない。
 - ④ ムスリムは、「アッラーの意志に従う者」を指し、民族の違いにかかわらず 平等に信徒として認められている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	8	3	3

- **問7** イスラームについての記述として**適当でないもの**を、次の①~**④**のうちから 一つ選べ。 11
 - ① アッラーへの内面的信仰が何よりも大切であり、日常生活に関わる法は重要でないと考えられている。
 - ② アッラーへの信仰に基づく共同体ウンマが重視され、その中に生きるイスラーム教徒たちは神の前に平等だと考えられている。
 - ③ アッラーはユダヤ教・キリスト教の神と同一であり、モーセやイエスを預言者として遣わしたと考えられている。
 - ④ アッラーへの信仰を異教徒から守るためにジハードを行うことが義務であり、十字軍への対応もその一例と考えられている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	11	1	3

- 問5 イスラームに関する記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 9
 - ① イスラームは、多くの分派に分かれたキリスト教を批判して、ウンマの一 致を主張するため、分派は一切存在しない。
 - ② イスラームは、イエスが神の子であるとするキリスト教を批判して、三位 一体説を否定し、唯一絶対神信仰を説く。
 - ③ イスラームは、イエスが十字架上の死を遂げたエルサレムを聖地とするキリスト教の考えを継承して、エルサレムへの巡礼を信者の義務とする。
 - ④ イスラームは、人間は生まれながらにして罪を負っているというキリスト 教の考えを継承して、贖罪のために戒律を守るべきことを説く。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	9	2	3

- 問6 イスラームにおける宗教的義務である五行の一つ、断食の記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 **7**
 - ① 健康な成年男女が毎週金曜日に、水を除く一切の飲食を絶つこと。
 - ② 健康な成年男女がイスラーム暦第9月の間,日中一切の飲食を絶つこと。
 - ③ 健康な成年男女が常時、羊の肉など一切のぜいたく品の飲食を絶つこと。
 - ④ 健康な成年男女が夏至から40日間、パンを除く一切の食事を絶つこと。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	7	2	3

- 問2 イスラームで説かれる神に関する説明として最も適当なものを、次の①~④ のうちから一つ選べ。 2
 - ① 一切を超越した神であり、いかなる偶像によっても表すことはできない。この神は、モーセやイエスの説いた神と同じであるとされる。
 - ② 宇宙の創造者であり、また最後の裁きの日の審判を主宰する。神はムハンマドを遣わし、彼を神の代理人として一人一人の人間を裁かせるとされる。
 - ③ 一切を超越した神であり、彫像によって表すことはできない。ただし、神 の肖像画のみは認められており、これがイコンと呼ばれる。
 - ④ 宇宙の創造者であり、また最後の裁きの日の審判を主宰する。神は、この 審判を一千年ごとに行い、正義を確立するとされる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	2	1	3

- 問5 クルアーンに関する記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 6
 - ① クルアーンは、唯一の神が預言者ムハンマドを通じて人間に与えた言葉であり、ムハンマドの役割は神の啓示をそのまま人々に伝えることであった。
 - ② クルアーンは、唯一の神が人間に与えた言葉であり、預言者ムハンマドの 役割はその言葉を用いて、将来を 予 め語ることであった。
 - ③ クルアーンは、唯一の神が預言者ムハンマドと彼を取り巻く多くの人々に 直接現れて語ったものである。
 - ② クルアーンは、唯一の神が預言者ムハンマドに聖典作成を命じ、ムハンマドと彼を取り巻く人々が共同で執筆したものである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	6	1	3

問1 文章中の 9 に入れるのに最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ 選べ。 9

7世紀にアラビア半島の一角で始まったイスラームは瞬く間に広大な帝国を築き上げた。9世紀には 9 の施策のもとで、ギリシア科学の文献が大々的にアラビア語に翻訳された。その結果、独自の思想や科学が発達したが、これら初期の文化活動の担い手のほとんどは、支配者であるアラブ人ではなく、ユダヤ教徒、キリスト教徒、ペルシア人イスラーム教徒、というように、異質な宗教や文化に属する人々であった。

- ① メシア② 預言者③ カリフ④ 教 皇
- 問2 イスラームについての説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 11
 - ① イスラームでは、神の恵みに感謝するために断食月が定められているが、 昼間でも動物質のもの以外なら食べることできる。
 - ② イスラームでは、クルアーンの思想が人々の日常生活を規定しているが、 その思想は伝統的な部族社会の 掟 をも重要視している。
 - ③ イスラームでは、ザカートと呼ばれる喜捨が義務とされるが、これは宗教 税とも呼ばれ、信者の相互扶助や貧民救済などに用いられる。
 - ④ イスラームでは、全知全能の神の前で人間はすべて平等であるとされているが、ムハンマドだけは神に次ぐものとして礼拝の対象となっている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	9	3	2
第 2 問	問 2	11	3	3

- 問7 キリスト教とイスラームとに共通する思想の記述として最も適当なものを、 次の①~④のうちから一つ選べ。 8
 - ① 創造主である神への信仰を通して、すべての人間が血縁集団や民族を超え た新たな共同体を実現するという見方に立っている。
 - ② 創造主である神との契約に基づき、神から示された律法を厳格に守ることによってのみ救済が約束されるという見方に立っている。
 - ③ 絶対神と完全に一体となった預言者が天地創造や終末,来世の秘密を一般 の人々に説き明かすという見方に立っている。
 - ④ 偶像崇拝を否定し、被造物としての人間は絶対的な超越者である神をまったく知りえないという見方に立っている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 7	8	1	3

- **問6** 世界宗教であるイスラームについての記述として**適当でないもの**を、次の① ~④のうちから一つ選べ。 **8**
 - ① 神は世界を創造しただけでなく世界の終末をももたらすが、この終末のと き、死んだ人間はすべて復活し、天国に入るとされている。
 - ② 神はあらゆる事物を超越した唯一絶対の神であるから、いかなる偶像によってもそれを表現することはできないとされている。
 - ③ ムスリムは唯一の神に帰依を誓う人々であるが、ユダヤ教徒やキリスト教徒なども同じ神の啓示を受け入れた者として認めている。
 - ④ 「神から見て、一後ちのなかでいちばん貴いのはいちばん敬虔な人間」とあるように、大切なのは信仰心であり、人間は平等だとされている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	8	1	3

- 問5 唯一の人格神を古代イスラエル人たちと同様に信仰していたイスラームの預言者ムハンマドについての記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 6
 - ① ムハンマドは、自分はアラブの高貴な家柄に生まれた預言者であり、預言者はアラブ人のなかからのみ出現すると説いた。
 - ② ムハンマドは、自分は唯一の神によって選ばれた預言者であり、預言者は 自分の子孫からしか出現しないと説いた。
 - ③ ムハンマドは、自分はイエスと同様に神の子であり、人々に神の言葉を伝えるために預言者として出現したと説いた。
 - ④ ムハンマドは、自分はモーセやイエスを選んだのと同じ神によって選ばれ た預言者であるが、自分の後に預言者は出現しないと説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	6	4	3

- 問7 伝統の原点に忠実であろうとする態度はイスラームの伝統にも常に見られた。 この場合の「原点」である『クルアーン (コーラン)』についての記述として最 も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 9
 - ① 『クルアーン』は、すべてのイスラーム法(シャリーア)の根拠であり、 世俗と厳密に区別された聖職者の生活を律している。
 - ② 『クルアーン』は、神の言葉そのものであるとされ、その教えを信じることは六信の一つに数えられている。
 - ③ 『クルアーン』は、唯一神アッラーが歴代の預言者に伝えた言葉をムハンマドが集録・編纂したものである。
 - ④ 『クルアーン』には、神と、神に選ばれた砂漠の民とが結んだ契約が記されている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 7	9	2	3

問 5 五行に関する記述として**適当でないもの**を,次の①~⑤のうちから一つ選べ。 6

- ① メッカへの巡礼とは、すべてのムスリムが可能なかぎり生涯に一度は行うべきものであるが、これは社会的地位や民族の差異を超えたムスリムとしての連帯感を養うのに役立っている。
- ② ラマダーン月の断食とは、未明から日没までいっさいの飲食を絶つものであるが、これは欲望を抑える強い意志や貧者への思いやりの心を養うのに役立っている。
- ③ 礼拝とは、一日に五回、定められた時刻に定められた手順で行うべきものであるが、これは神に対する絶対的帰依を体現し、人間が本来あるべき姿を確認するのに役立っている。
- ④ 信仰告白とは、神は唯一であり、ムハンマドは預言者であると告白するものであるが、これはユダヤ教やキリスト教の神を否定し、イスラームの絶対性を主張するものである。
- ⑤ 喜捨とは、富んでいる者が貧しい者に対して資産に応じた施しをするものであるが、これは神への感謝の心を養い、社会における富の公平な分配を目指すものである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	6	4	3

- 問 4 イスラームにおける信仰と共同体の関係の記述として**適当でないもの**を、次の1~4のうちから一つ選べ。 4
 - ① シャリーアは『クルアーン』と預言者ムハンマドの言行録を主な根拠としており、その立法者は神と考えられているので、シャリーアを守って生きることが神への信仰を体現することになる。
 - ② イスラーム共同体は神に絶対的に帰依する者の集合であり、人種や民族の 違いに関係なく、その信仰を受け入れた者すべてに常に開かれた共同体であ ると考えられている。
 - ③ 『クルアーン』の利子禁止の記述に従って、現在、無利子銀行が運営されているように、イスラームはその信仰に基づいた社会制度をも形成しようとする宗教である。
 - ④ 預言者ムハンマドの後継者・代理人を意味するハリーファ(カリフ)は、信仰や政治の最高権威者として、神の新たな啓示を受け取りながら、共同体を 統治する役割をもっている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 4	4	4	3

- 問6 自らを預言者の一人として自覚したムハンマドに関する記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 **7**
 - ① イスラーム以前の預言者たちの教えには間違った点があるので、ムハンマドは、特にアブラハムとイエスを非難して、神の正しい教えを確立した。
 - ② ムハンマドは、アラビア半島に広まっていた世界の終末と復活の教えを踏襲し、伝統的な部族結合を重んじながら神のことばを伝えた。
 - ③ 神は、さまざまな民族に神のことばを伝える預言者を遣わしてきたが、アブラハム、モーセ、イエスなど一連の預言者の最後にムハンマドを送った。
 - ④ ムハンマドは、イスラームの信仰が十分に守られず、不正・不義が蔓延する時代になると、再度この世界に現れ、抑圧者を排除し、正義を実現する。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	7	3	3